

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	小林市立 南小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	20
児童数	53	50	50	62	60	63	3	341	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」の育成を図る授業の創造
 ～国語科・算数科における個に応じたきめ細かな指導の工夫を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・1年生～6年生・国語
 学校として、昨年度からの当該教科に関する研究実績があり、研究をより深めるため。
 また、実態調査の結果から、児童・保護者ともに関心の高い教科であるため。
- ・3年生～6年生・算数
 児童の理解の状況に差が出やすい教科であり、実施学年で少人数指導・一部教科担任制を取り入れ、研究に取り組むため。また、実態調査の結果から、児童・保護者ともに関心の高い教科であるため。

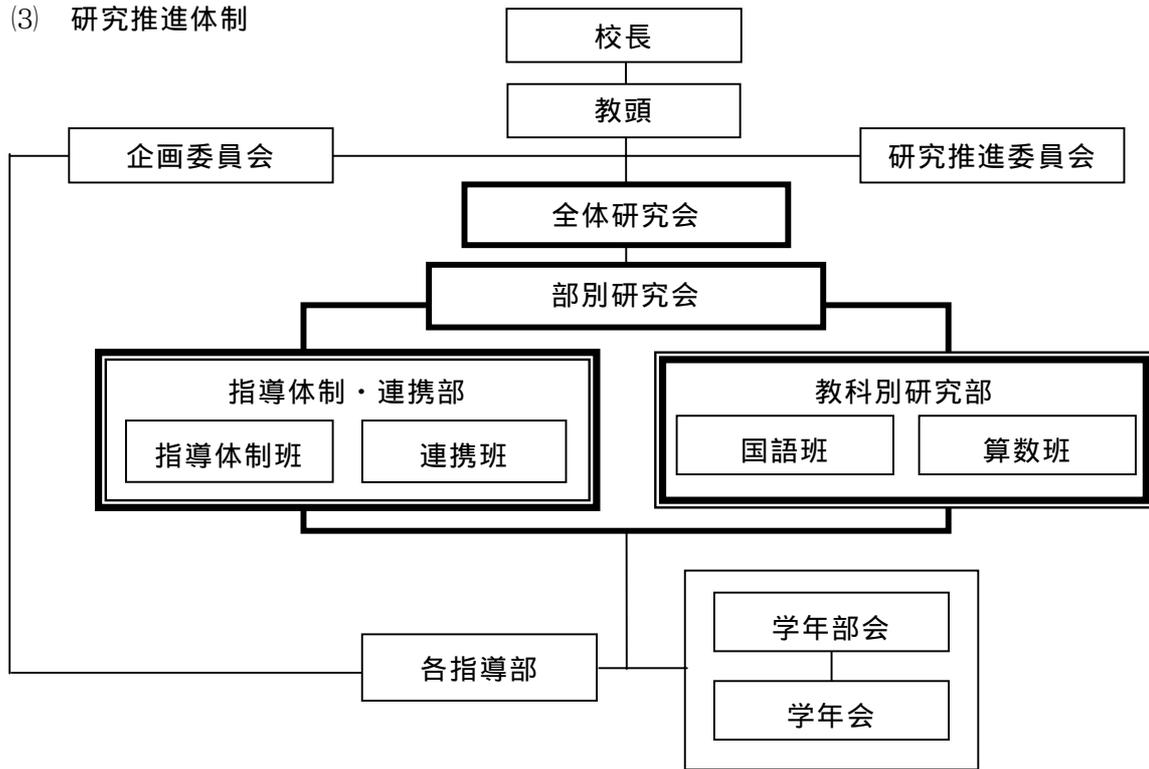
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「確かな学力」の向上を図る授業の創造 ～国語科における伝え合う力の育成を中心にして～</p> <p>仮説 1 国語の学力を向上させれば、ことばの力がついて他の教科の学力も高まる。 2 授業のシステムを開発し、指導方法を共有化すれば、組織的に実践が進められ、全校的に学力を向上させることができる。 3 学校と家庭が連携を図れば、進んで家庭学習に取り組むようになり、学力を定着させることができる。</p> <p>研究内容・方法（南小のレインボープラン） 線部 平成14年度重点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計算力向上～つまずきやすい計算問題の抽出と計算の仕方を分かりやすくする教材の開発 2 算数科～少人数指導の工夫 3 <u>国語科～授業システムの開発「伝え合う場」や「きらきら学習」の設定</u> 4 <u>伝え合う力の育成～教科外活動（月の詩など）、リレー方式の発言など</u> 5 漢字力向上～教材開発と記憶力トレーニング 6 家庭学習の定着～家庭学習の手引き作成 7 通知表改善～評価規準・基準の検討
--------	---

平成 15 年 度	<p>テーマ 「確かな学力」の育成を図る授業の創造 ～国語科・算数科における個に応じたきめ細かな指導の工夫を通して～ 仮説</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な学習訓練や繰り返し学習の徹底，少人数指導や一部教科担任制など，個に応じたきめ細かな指導方法・指導体制の工夫を行えば，児童の学習意欲が高まり，「確かな学力」を育成できるであろう。 2 「読み・書き・計算」の基礎学力を高める教材を開発し，練習や補充的・発展的な学習によるトレーニングを行えば，基礎学力の確実な定着が図れ，「確かな学力」を育成できるであろう。 3 学校と家庭との連携を推進し，家庭学習の手引きを作成するなどの方法を通して家庭学習の習慣化を図る支援を行えば，児童に自ら学ぶ習慣が身に付き，「確かな学力」を育成できるであろう。 <p>研究内容・方法（南小のレインボープラン） ____線部 本年度重点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>個に応じたきめ細かな指導方法の工夫</u> 2 <u>個に応じたきめ細かな指導体制の工夫</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数指導の工夫，一部教科担任制の導入，校時程の見直し 3 <u>漢字力を高める教材開発</u> 4 <u>計算力を高める教材開発</u> 5 <u>家庭・中学校との連携</u> 6 <u>読む力の育成</u> 7 評価及び通知表の在り方 <p>* 個に応じたきめ細かな指導の工夫を重点的に研究していく観点から，副題・仮説の見直しを図った。また，研究内容についても，副題・仮説との整合性を図るために修正を加えた。</p>
--------------------	---

平成 16 年 度	<p>テーマ 「確かな学力」の定着を図る授業の実践・研究 ～国語科・算数科における個に応じたきめ細かな指導の工夫を通して～ 仮説</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じたきめ細かな指導を柔軟かつ多様に導入して，分かる授業を行えば，児童の学習意欲が高まり，「確かな学力」が定着するであろう。 2 開発した〔読・書・算〕の教材を活用し，到達目標を設定して補充的・発展的な学習によるトレーニングを行えば，児童に基礎学力の確実な定着が図れるであろう。 3 家庭・中学校との連携を深め，家庭学習の習慣化を図る支援を行えば，児童に学ぶ習慣が身に付き，自ら学ぶ力を育てることができるであろう。 <p>研究内容・方法（南小のレインボープラン）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じたきめ細かな指導方法の工夫～主体的学習の定着 2 個に応じたきめ細かな指導体制の工夫～少人数指導，単元レベル，授業レベルでの工夫，一部教科担任制 3 漢字力～開発した教材の活用，発展的な教材の開発 4 計算力～開発した教材の活用，発展的な教材の開発 5 家庭・中学校との連携～家庭学習ノート作成（低・中・高） 6 読む力の育成～（月の詩，読み声，全校読書，読み声集会） 7 評価及び通知表の工夫
--------------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 成果

小学校基礎学力調査（県教育研修センターの結果：3年生の例）

国語の平均点～78.8点（西諸管内68.5点 県69.9点）

算数の平均点～82.5点（西諸管内77.5点 県77.3点）

きめ細かな指導方法の工夫や、少人数指導・一部教科担任制などの指導体制の工夫を行ったことによって、意欲的に学習に取り組む児童が増えてきた。

本校独自の教材プリントを作成し、授業中や放課後、家庭学習の中で、開発教材を活用したトレーニングを繰り返してきたことで、児童に基礎学力が身に付いてきた。

2 課題

少人数指導と一部教科担任制の成果と課題をまとめ、指導体制の改善を図り、より充実した手立て・工夫をさらに進めていく。

発展的な学習の在り方について研究を深めるとともに、本校独自の発展的な教材の開発を進める。

家庭と中学校との連携を深め、小・中学校で一貫性のある指導をしていく。

学力把握のための学校としての取組

基礎学力調査（県教育研修センター）（3・5年 国語・算数・社会・理科）10月

教研式標準学力検査（CRT）（全学年 国語・算数）2月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

学力向上フロンティアスクール・授業公開

- 1 日時 平成16年1月21日(水) 13:40~16:00
 - 2 場所 小林市立南小学校
 - 3 テーマ 「確かな学力」の育成を図る授業の創造
~国語科・算数科における個に応じたきめ細かな指導の工夫を通して~
 - 4 対象 管内の小・中学校
西諸県地区学力向上推進地区協議会
PTA
-

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	✓	14年度からの継続校
【学校規模】	6学級以下 ✓ 13~18学級 25学級以上		7~12学級 19~24学級
【指導体制】	✓ 少人数指導 ✓ 一部教科担任制		T・Tによる指導 その他
【研究教科】	✓ 国語 生活 体育	社会 音楽 その他	✓ 算数 図画工作 理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		✓	有 無